

# 第4回「地球時代のヒント・農村未来塾」

## ～村人と共に学ぶ～

主催：(社)国際農林業協働協会・寄合渡元気ハツラツ研究所  
後援：農林水産省(予定)／長野県(予定)



### 地域で育まれる資源 —— 生活に活かし、継承する。

私たちは、多くの資源に囲まれて生きています。それらは、これまで何世代にも亘って受け継がれ、育まれてきたものです。私たちは資源の背後に隠れる多くの人に支えられて生き、私たち自身も支えていかねばなりません。これは、日本にあっても開発途上国にあっても、共通の課題ではないでしょうか。

今、日本でも、所得や教育の問題から、若い世代が村を出るケースが増えています。しかし、そんな厳しい状況の中でも、地域で支え合い元気を出し合いながら、資源を育み、継承する人々がいます。

開発途上国で活動するとき、地域で育まれる資源と資源を育む自治のあり方を考えた経験は、ぶれることのない芯になることでしょう。

**日程：2009年11月20日(金)～11月23日(月)〈3泊4日〉**

**場所：長野県松本市奈川地区寄合渡(よりあいど)他**

**対象者：**農林業・農村開発に携わる NGO スタッフ および  
ボランティア活動に関心を有する人

**定員：**20人(先着)

●お問い合わせ先 (社)国際農林業協働協会 URL <http://www.jaicaf.or.jp>  
(担当：西山) TEL 03-5772-7880/FAX 03-5772-7680/E-mail [deske@jaicaf.or.jp](mailto:deske@jaicaf.or.jp)

## 目 的：

- 1) 地域に継承される資源を見つけ、それらがどのように活用され、保全管理されているかを学ぶ。
- 2) 地域に関わる人たちを知り、資源の活用・管理における役割を整理する。
- 3) 地域が抱える課題を把握し整理する。
- 4) 資源と人々、地元の人たちと市役所・普及センター・大学など外部者との関係を学び、参加型開発とは何かを考える。
- 5) 地域の人々とのやり取りを通じて、円滑なコミュニケーション能力の向上を図るとともに、海外でのボランティア活動を行う上での知識・技術を習得する。

**参加費：** 10,000 円（宿泊費込み）※集合・解散場所までの移動および初日の昼食は各自負担

**宿泊先：** 寄合渡集落内の旅館（下記 3 軒）に分宿

※男女別の相部屋です。

※宿の割り振りは主催側が決定し、事前に連絡します。

- 亀屋旅館（松本市奈川 1322 TEL 0263-79-2657）
- 民宿亀遊館（松本市奈川 1320 TEL 0263-79-2652）
- 民宿四季（松本市奈川 989 TEL0263-79-2664）

**持ち物：** 宿泊に必要な物（着替え、タオル、歯ブラシ等）、防寒着、雨具、筆記用具など  
くかなり冷え込みますので、気候に対応できるようご準備下さい。>

**その他：** \* 学習会前後のホームワーク、プログラムの詳細については、後日、参加予定者に事務局よりご連絡します。

\* 都合により参加できなくなった場合は、必ず担当者に連絡願います。

\* 奈川地区では携帯電話がつかない場合があります。

## 奈川地区寄合渡（よりあいど）とは

松本市街地から車で約 1 時間、野麦街道と木曾街道の分岐点、奈川に境川が合流する地点です。昔は、ポッカさんと呼ばれる人夫や役牛がよく通ったところ。奈川にも数多くの牛飼いがいて、最盛期には年 2 回牛市が開かれていました。

最寄りの中学校まで片道 4km。通える範囲に高校はありません。高齢化が進んでいますが、町会の活動は盛んで公会堂や体育館もあります。伝統行事も残っています。境川沿いには住宅が、山の上の日当たりの良い場所には農地が耕されています。

ここでは、各家庭が薪ストーブを持ち、共有林の春木（薪）を利用して暖をとります。夏休みには薬草を摘み、小学校から薬品メーカーへ販売して学校図書を購入していました。あちこちに掛かる巣箱は、日本ミツバチのもの。山の水は豊富で、生活の中で使われています。



奈川ソバという伝統の品種は、市役所や普及センターの働きかけもあり、近年、栽培面積が拡大しています。在来品種である保平カブも、生活に密着しています。

集落の奥へ入ると、渋沢温泉、野麦峠スキー場があります。また、周囲には、清水牧場や大原クラインガルテンなどの施設がある地域です。

## 学習会の進め方について

村のじい・ばあ（おじいさん、おばあさん）、若い世代のグループ、市役所の人々・・・多くの方々から聞き、話し、一緒に考える 4 日間です。参加者はグループに分かれて集落を歩きます。日程中、グループメンバーは固定されます。訪問先や体験内容もテーマに沿ったものとする予定です。

詳細は、受け付け後にお知らせします。

## プログラム概要（予定）

日にち	時間	内容
11/20(金)	11:00	松本駅集合・借り上げバスにて奈川地区寄合渡へ 車中にて昼食（各自持参）・自己紹介
	午後	開会式（於 奈川地区公会堂） 座学：NGO の活動事例と意見交換  集落の紹介と散策 振り返りと翌日の確認 寄合渡の方々との交流会
11/21(土)	午前	地元学（グループ毎） 聞き取り／地元の方と集落を歩く
	午後	体験作業（グループ毎）
11/22(日)	終日	とりまとめと発表準備（グループ毎）
11/23(月)	午前	公開発表会（グループ発表）と意見交換 講評 閉会式（修了証授与）
	午後	学習会の振り返り バスにて松本駅へ移動・駅にて解散（午後 3 時半予定）



<注意> **奈川はソバの産地です。従ってプログラムにはソバを扱うものが含まれます。**  
アレルギーをお持ちの方は参加をご遠慮下さい。

主催： 社団法人 国際農林業協働協会（JAICAF）  
寄合渡元気ハツラツ研究所

後援（予定）： 農林水産省・長野県

協力団体： 松本市・名古屋大学国際開発研究科・国連食糧農業  
機関（FAO）日本事務所・(特活)地球緑化センター・  
(特活)地域国際活動研究センター・(財)オイスカ（予定）



※本ワークショップを、「学習会」と呼びます。これは、地元の人たちにとっても分かりやすい言葉を使いたいとの思いからです。

**申 込:**

1. 参加申込書に記入し、申込先に FAX、メールあるいは郵送にてお送り下さい。
2. 参加申込を受け付けた方には、主催から連絡します。
3. 主催からの連絡をもって、受付完了となります。

※申込書を送ったのに連絡がない場合は、必ず電話にてお問い合わせ下さい。

**申込先:**

(社) 国際農林業協働協会 業務第二部 西山亜希代  
〒107-0032 東京都港区赤坂 8-10-39 赤坂 KSA ビル 3 階  
TEL 03-5772-7880 FAX 03-5772-7680 E-MAIL deske@jaicaf.or.jp

**2009 年度学習会(NGO 課題別国内ワークショップ)参加申込書**

(ふりがな) 氏 名		性別		年齢	
現住所					
電話番号		E-mail			
緊急時連絡先*		出身県			
職 業		所 属			
過去の海外経験 国・期間・目的など					
参加動機・ 研修への期待					
参加者リストを作成し、関係者全員で共有します。リストには、氏名、性別、年齢の他、所属 あるいは職業、出身県、過去の主な渡航先を掲載する予定です。参加動機も共有します。 下記事項の掲載の可否について、お尋ねします。					
過去の渡航先	可	不可	出身県	可	不可
所 属	可	不可	職 業	可	不可

\* 緊急連絡先は、学習会開催中に万が一病気や事故などが発生した際に使用します。

< 取得した個人情報は、本人の許諾なく本事業以外で使用することはありません。 >